

あいワークの増設と スキルアップセミナー

むらかみ

村上 ゆうこ

民主党・市民連合



問求職者にとっては、多くの求人情報を持つハローワークに通い、就職活動をするのが一般的と考えられますが、市内3カ所のハローワークは混雑していて、じっくりと職探しをする状況になっていません。何度も足を運び、求人を検索する必要がある求職者にとっては、近くに職業相談・紹介窓口があることは大きなメリットです。中央区と東区は、区役所などで就職活動ができる「あいワーク」がいまだ開設されていませんが、今後の見通しはどのようになっていますか。

答中央区、東区ともに、本年度中に開設することで、北海道労働局とスケジュールなどの協議を行っています。今のところ12月ごろの開設を考えています。

問生活保護受給者は、通常の就労支援ではなかなか就職に結びつかない状況にあることから、スキルアップセミナーで受給者の就労意欲を喚起するとともに、就労に必要とされるマナーや知識を得ることは大変重要です。現在、5つの区役所でしか実施されていないスキルアップセミナーを、全区で実施する考えはありますか。

答生活保護受給者の自立・就労を支援するスキルアップセミナーは、早期就労や就労意欲の喚起に効果があると考えています。今後、事業内容の検証、工夫を行い、将来的には全区での実施を視野に入れながら検討していきたいと考えています。

篠路駅周辺地区のまちづくり

くにやす

国安 政典

公明党



問平成14年に「篠路駅周辺地区まちづくり事業計画」が策定され、鉄道高架事業と区画整理事業を柱に北区北部の拠点地区としてのまちづくりを目指すことが打ち出されてから11年がたちますが、鉄道高架事業と区画整理事業は、依然として進展がない状況です。新たなまちづくりの指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」がスタートしようとする今こそ、当地区の方向性を出す時期です。篠路駅周辺地区のまちづくりを今後どのように進めていくのですか。

答篠路駅周辺地区は、現在策定中の「札幌市まちづくり戦略ビジョン」において、地域交流の拠点の一つとして検討しており、北区北部の重要な地域と考えています。今後は、「まちづくり事業計画」の鉄道高架と区画整理を柱とした一体的なまちづくりを踏襲し、本年度から関係機関との協議をスタートさせ、おおむね5年後の事業化を目指していきたいと考えています。

市議会の動き

5月30日に招集された第2回定例会の中から、6月4日、5日、6日の代表質問の主な内容、6月12日（最終日）に可決された議案などについてお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

雪処理と道路維持対策

あべ

阿部 ひであき

自民党・市民会議



問大雪となった平成24年度において、雪堆積場など雪処理の状況はどうでしたか。また、さらに効率的な雪処理を行うために、どのような課題が浮き彫りとなり、今後どのような対策が必要だと考えているのですか。

答雪堆積場を前倒しして開設したほか、緊急的な開設や、既存箇所の搬入容量の拡大などをしましたが、2月中旬以降、閉鎖する雪堆積場が増えたことから、地域的な偏りが大きくなったり、車両の集中により周辺道路の渋滞が発生するなどの課題も出ました。今後は、大雪時への対応として、これまで以上に緊急的な開設箇所の選定、偏りの緩和に向けた市専用・一般利用の再検討など、より効率的な雪処理ができるよう努めていきます。

問道路施設の老朽化などにより、道路利用者の安全・安心が脅かされている今日、その保全対策を確実に実施していくことが重要です。道路保全、維持管理の在り方について、予算執行も含め、どのように認識していますか。また、道路防災対策をどのように進めていくのですか。

答できるだけ長く使い続ける予防保全型の維持管理の考え方を取り入れ、優先度を定めた上で修繕、補修に取り組んでいます。予算執行については、中長期的な見通しのもとに平準化を行った上で執行しています。今後は、定期点検に加え、トンネルなどの総点検の実施や、施設ごとの補修計画も策定し、順次対策を進めていきます。